文節のまとめ

文を自然な発音や意味となる範囲(はんい)でできるだけ短く区切ったまとまりを**文節**という。文節には必ず**一つだけ**自立語が含(ふく)まれる。

（例）鳥が／青い／空を／飛ぶ。
（自：鳥／青い／空／飛ぶ）

各文節は文の中でさまざまな働きをする。

●主語・述語

（例）庭に／きれいな／花が／咲く。
（花が：主語　咲く：述語）

主語と述語の関係を、**主・述の関係**という。

●修飾語(しゅうしょく)

（例）庭に／きれいな／花が／咲く。
（庭に：連用修飾語→咲く　きれいな：連体修飾語→花が）

修飾語と修飾語を受ける文節（被(ひ)修飾語）の関係を、**修飾・被修飾の関係**という。

●接続語

（例）晴れた。／だから、／外で／遊んだ。
（だから、：接続語）

接続語がつなぐ文同士の関係や、接続語と後に続く部分の関係を**接続の関係**という。

●独立語

（例）ああ、／すばらしい／景色だ。
（ああ：独立語）

独立語とそれ以外の文節の関係を**独立の関係**という。

二つ以上の文節がまとまって、主語・述語・修飾語などと同じ働きをするものを**連文節**という。連文節で主語・述語・修飾語・接続語・独立語と同じ働きをするものをそれぞれ、**主部・述部・修飾部・接続部・独立部**とよぶ。

（例）白い　鳥が　飛ぶ。　→　白い　鳥が　飛ぶ。
（白い：修飾語　鳥が：主語　飛ぶ：述語　→　白い 鳥が：主部）

連文節では、並立(へいりつ)や補助といった関係がみられることがある。

・**並立の関係**…二つ以上の文節が対等な関係で並び、ひとまとまりになっているもの。

（例）雨と　風が　強い。　その　山は　高く　けわしい。
（雨と 風が：並立の関係（主部）　高く けわしい：並立の関係（述部））

・**補助の関係**…下の文節が上の文節の意味を補って、ひとまとまりになっているもの。

（例）犬が　走って　いる。　今日は　暑く　ない。
（走って いる：補助の関係　暑く ない：補助の関係）

確認テスト

(1) 例に従って、次の文を斜線（しゃせん）（／）で文節に区切り、各文節に含（ふく）まれる自立語を□で囲みなさい。

（例）［鳥］が／［青い］／［空］を／［飛ぶ］。

私 は 今 朝、文 法 の 問 題 を 解 い て い た。

(2) 次の——線部の文節の働きを、それぞれ**ア**～**オ**から選びなさい。ただし、同じ記号を何度使ってもよい。

①彼女こそ　②次の　③生徒会長に　④ふさわしい。

ア 主語　**イ** 述語　**ウ** 修飾語　**エ** 接続語　**オ** 独立語

①［　］　②［　］　③［　］　④［　］

(3) 次の——線部の文節の働きを、それぞれ**ア**～**オ**から選びなさい。ただし、同じ記号を何度使ってもよい。

①梅雨なので、　②毎日　③雨が　④降る。

ア 主語　**イ** 述語　**ウ** 修飾語　**エ** 接続語　**オ** 独立語

①［　］　②［　］　③［　］　④［　］

(4) 次の——線部の文節の働きを、それぞれ**ア**～**オ**から選びなさい。ただし、同じ記号を何度使ってもよい。

①おや、　②あれは　③国語の　④先生だ。

ア 主語　**イ** 述語　**ウ** 修飾語　**エ** 接続語　**オ** 独立語

①［　］　②［　］　③［　］　④［　］

(5) 次の各文の——線部に含まれる文節が、並立の関係なら**ア**、補助の関係なら**イ**、それ以外なら**ウ**で答えなさい。

① メッセージが書いてある。［　］

② この食べ物は安くておいしい。［　］

③ 今日はみんなと校庭で走った。［　］

④ 言葉の誤用はめずらしくない。［　］

⑤ ノックをするとドアが開いた。［　］

⑥ シカやキツネが生息する。［　］